

知ってた？

暮らしに役立つちょっといいところ

地域連携交流施設

どの世代も過ごしやすい、住民の交流拠点

東はりま特別支援学校のとなりにある「地域連携交流施設」は、地域とともに歩む「開かれた特別支援学校」を目指してつくられた施設。旧播磨北小学校跡に建つ、誰でもふらりと立ち寄ることができる住民の交流拠点です。

毎月開催の「親子ふれあい教室」「フォークダンス教室」など、来館者のニーズから企画することが多く、毎回いろんな住民が訪れます。

「子どもから大人まで、幅広く参加できる機会をつくりたい。『こんな活動を始めたい・探している』などの相談も大歓迎です。世代・性別・国籍関係なく、いろいろな人に来てもらえれば」と、事務局の野口さんと武岡さん。

バリアフリー環境も整備されていて、段差がないフラットなつくり。多機能トイレにはオスト

メイト対応の設備に加えシャワーとベッドもあります。「赤ちゃんの駅（授乳やおむつ替えができる公共施設）」に登録されているので、小さな子ども連れでも安心です。

イベントに参加したり、部屋を利用したり。どの世代も過ごしやすい地域の居場所へ、気軽に足を運んでみませんか。



◀地域連携交流施設ホームページ



地域連携交流施設

東はりま特別支援学校と地域住民が連携と交流を深めるための学校施設。地域生活支援事業などの障がい福祉事業を実施している。
住所：播磨町北古田 1-17-17（県立東はりま特別支援学校内）
☎ 079-437-0141（施設管理運営団体：はりまデザインラボ）
開館時間：9:00～18:00
休館日：日曜日、12月29日～1月3日
※ご利用については、はりまデザインラボ事務局へ。



施設入口、駐車場をキャンドルとLEDライトで装飾する「光のプロムナード」。2023年は11月18日に開催予定です。

兵庫県で一番小さなまち、播磨町。面積：約3km×3km（=9.13km²）にある、色んな「ちょっといいところ」をお届けします。新しく住む人もこれまで住んできた人も、ずっと保存したくなる播磨町の場所・人・ことに会ってください。



特集 「やりたい」ができる場所！コミセン



西部コミセンで撮影

てるてるはりま

託児を通じて親子に笑顔を！

「てるてるはりま」は、子育て中のリフレッシュを応援することを目的に発足し、約20名のスタッフが託児を手伝っています。

これまでに公共施設での託児付きイベントや、コープ播磨店での親子リトミックと買い物中託児、イベント会場での出張託児などを展開。2023年4月には、空き家を活用したチャイルドケアハウス「みっちゃん家」をオープンし、常設スペースでの一時預かりをスタートしました。

団体名は、「照る（=晴れる、笑顔になる）」と「TEL（電話する）」を掛けた造語。子育てを頑張るみなさんに笑顔でいてほしい、困ったらいつでも連絡してほしい。そんな想いを込めています。

代表の七瀬（ななたき）さんも4人の子どもを育てるお母さん。「子どもが小さいうちは思うように動けないときもあるけれど、保護者がリフレッシュして笑顔だと、子どもにもプラスになる。目的にかかわらず利用してもらえれば」と笑顔で話します。

リフレッシュしたいとき、用事があるとき、ちょっと一人になりたいとき。てるてるはりまのみなさんが、お子さんを笑顔で迎えてくれます。



みっちゃん家
住所：播磨町宮西 1-8-18
開館日：週に一度不定期



スタッフは「子どもが好き！関わりたい！」という思いで集まった、保育士や育児経験のあるママたち。

※てるてるはりまは、令和5年度播磨町まちづくりパートナー事業に採択されています。

てるてるはりまホームページ▶



3×3 トリビア

ほんわかあったかい 播磨町のマスコット

大中遺跡で人々が暮らしを営んでいた、弥生時代の生活を描き生まれたのが、いせきくんとやよいちゃんです。兄のいせきくんは10歳、妹のやよいちゃんは8歳。二人の特技は「はりま☆土器ドキ☆ダンス」で、町のイベントでいつも楽しそうに披露してくれます。実は性格や好み、家族やペットなどバックストーリーがあるのですが、紙面の関係でご紹介はここまで。町のホームページでぜひ調べてみてくださいね！



読者アンケート
ご協力お願いします

バックナンバーはこちら



3×3 は、住民ライターが書いています！

やりたいが気軽にできる！楽しいが見つかる！近所で楽しめるって、うれしい！ by け（子：4歳&2歳）

多くの方のお話を伺い完成。そのうちお二人は中学時代の恩師でした。 by ま（子：5歳&2歳）

コミセンって実はめっちゃ身近な施設。だからこそ皆で上手く活用できたら良いな〜！ by か（子：9歳）

この特集きっかけでコミセンの見方が変わりました！親子での使い方、広がれ〜 by 編集き（子：4歳）

3×3（さんカケさん） 播磨町のちょっといいところ NO.03
発行：2023年8月24日 播磨町役場
TEL 079-435-0355（代表）/079-435-0356（企画課）
編集：播磨町企画課・特定非営利活動法人ニュー☆ハリマ

「実は親子で使いやすい」コミセンで遊ぼう！

近くのコミセンに行ってみよう！

西部コミセン／野添コミセン／南部コミセン／東部コミセン

知ってた？暮らしに役立つちょっといいところ

どの世代も過ごしやすい、住民の交流拠点 地域連携交流施設
託児を通じて親子に笑顔を！ てるてるはりま

コミュニティセンター（以下、コミセン）とは、地域住民の交流や生涯学習活動のための施設。手芸や料理、絵画、音楽、体操など様々なサークルが活動しています。町内のコミセンなら居住地にかかわらずどこでも利用OK。お部屋の利用料がお手頃なので、同じ趣味を持つ仲間と活動したり、地域の友達と交流会をしたり、イベントを企画したりと、アイデア次第でどんどん活用できる場所です。今回、3×3住民ライターのみんなでコミセンの楽しい使い方を考えてみました。



実は親子で使いやすい！

コミセンで遊ぼう！

「どうやって利用したらいいの？」

実際に編集部メンバーが西部コミセンのキッチンを使って、子ども連れでパフェ&夕食のカレーをつくってみました。利用申請は簡単！利用日60日前から当日の開館時間内に、利用したいコミセンの受付で申請書を提出し、利用料を払います。

1 受付



「こんにちは！よろしくお願いします」入口すぐのところにある受付兼事務所で予約していた部屋の利用管理簿を受け取ります。

2 お部屋へ



4台ある調理台は全てIHコンロ。オープンもあります。調理器具は、持参しなくてもほとんどの物が揃っています。今回、買って来たのは食材のみ。お鍋や包丁等、まずは必要なものを棚から出して並べます。

3 準備



初めはお互いよそよそしかった子どもたちも、仲間と一緒にだる気いっぱい。野菜の皮むきやフルーツのカットなど、夢中で準備します。どのグラスにパフェを盛り付ける？食器棚にはたくさんの食器がありました。

4 「パーティ！」



カレーを煮込んでいる間にパフェを盛り付けます。イメージ通りに子どもたちが自分たちでトッピング。完成したら、元気な声で「いただきます！」

オマケ



食後、眠たくなってきた子どもたち。和室に移動してのんびりと。大人は3×3の構成を話し合い。コミセンではフリーWi-Fiが利用できる。音楽を聞きながら、PCでの調べ物も進みます。



完成したカレーは容器に分けて持ち帰り夕食に！



5 お片付け



キッチン、和室を片づけて、ごみは全て持ち帰り。利用管理簿を受付へ。「ありがとうございました」

まとめ

この日は遊びながら夕食作りもできたので、帰宅後もラクラク。いつの間子どもたちはこんなに仲良くなったのでしょうか。あいにくの雨でしたが、天候に左右されず過ごすことができるのも魅力。自宅にいと気になる光熱費も、なんと利用料に全て含まれています。家族同士の集まり、お仕事に集中する会、楽器練習、なんでもOK*。「コミセンで集まってみたい？」といったメンバーに一声かけてみませんか。各コミセン、目的に応じて好みの部屋を予約可能です。

*使用目的によっては利用できません。詳しくは、各コミセン情報をご確認ください。

今回かかった利用料

料理教室 ¥300 (3時間)
(キッチン)
和室 ¥200 (1時間)

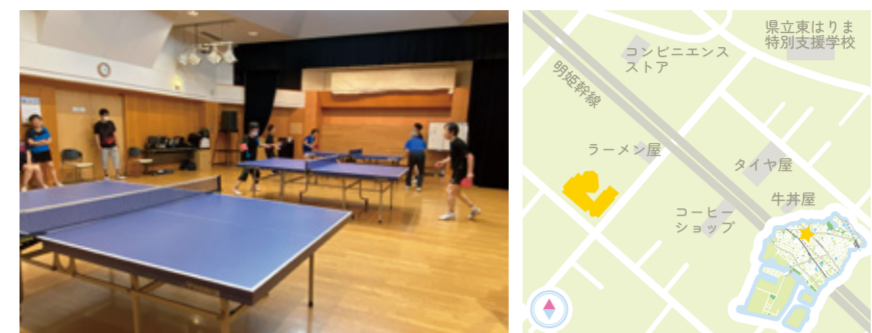
近くのコミセンに行ってみよう！



館長は地域との連携ができる“地域のコーディネーター”とも言える存在です。自分の住む地域で何かやってみたい人はぜひ相談してみてください。

西部コミュニティセンター

播磨町古田 1-1-11
079-436-9900



町内のコミセンの中で最も新しく、施設のきれいです。特に和室はまるで旅館のよう！ちょっとした集まりも、ここで開催すればほっこり落ち着いて話ができそうです。そして、特筆すべきは卓球。卓球サークルだけで10団体あり、多目的ホールではほぼ毎日、ピンポン球の弾む音が鳴り響いています。卓球愛の深い皆さんの要望で、元中学校教諭の福壽館長が使われなくなった卓球台を譲り受け環境を整えたとか。今では老若男女いろんな人がラケットを持ち楽しく汗を流しています。そして、「こんな事やってみたいな」と考えている人も、館長やスタッフさんに相談してみてくださいね！

南部コミュニティセンター

播磨町北本荘 2-6-30
079-436-4110



開放的な中庭や、ステージのある円形ホールが特徴。誰でも入れる図書コーナーは広くてゆったりできる雰囲気なので、お散歩やお買い物ついでのちょっとした休憩にもピッタリ！サークル活動などで利用する大人だけでなく、学校帰りの子どもたちも多数やってきますが、中島館長があなたかく見守ってくれるので安心です。お掃除にも余念がない館長は、手の空いている時には高圧洗浄機を使ってエントランスや中庭の年季の汚れをキレイにしているそう。よ〜く見ると、どこまで掃除が完了しているか分かりますよ！ぜひ観察してみてください！季節ごとの美しいお花にも注目です。

登校の悩みをかかえる子どものための居場所

「学校に行きたいけど行けない」「家から出てみたいけど、不安」……。そんな悩みを持つ町内の小中学生のために、令和5年5月より教育委員会による居場所づくり「コミセンサテライト」が始まりました。担当の先生が曜日ごとに各コミセンを巡り、笑顔で迎えます。ゲームやお絵描き、おしゃべりなど好きなことをしてもいいし、何もなくても大丈夫。時間内は出入りも自由です。居住エリアに関係なく好きな会場へ行くことができるので、開催曜日と場所、

時間帯を確認して行ってみてください。大事な居場所を見つけるきっかけになるかもしれません。

【曜日：場所】
月曜：南部コミセン 火曜：西部コミセン
木曜：野添コミセン 金曜：東部コミセン
※居住エリアにかかわらず利用可
【時間】13:00～16:00
【対象】播磨町内の小・中学生およびその保護者（予約不要）
【持ち物】特になし。やりたいことがあれば持参。
【問い合わせ先】播磨町教育委員会地域学校教育課
TEL 079-435-0545

野添コミュニティセンター

播磨町西野添 1-14-17
078-943-4825



「夏祭り」や「新春歩こう会」など、気軽に参加できる行事がたくさん企画されています。子どもより大人が本気の「ふれあい町民運動会」は、毎年6月に蓮池小学校で開催。参加無料で景品もいろいろあります。伊田館長は、娘さんが子ども会に入り、役員になりコミセン夏まつりに参加したことで住民同士の横のつながりを

東部コミュニティセンター

播磨町二子 418-3
078-943-6611



「どんどん私たちのこと知ってほしい」「使い慣れてほしい」という思いで迎えてくれる筒井館長と子育て世代の事務員さんのおかげで、子連れでも心地よく過ごせます。漫画も充実した図書コーナーは放課後に訪れる子どもたちに大人気！入口の段差やトイレ、ガムテープで補修された設備など、館内の古さ

コミセンサテライト



取材の日は先生と一緒にすごろく遊び。